

2021年7月25日(日)

NO. 1792

発行 しんぶん小金井社
【連絡先】小金井市東町4-27-4
042-381-0779 若木方



URL <http://jcpkoganei.com>

〒042-381-0779 若木方

寺内だいい作

たゆ 久貴

〒042-203-1362 貫井北町1-25-7-4101

水上ひろし

〒042-301-9521 緑町1-6-7 光ハイッ

森戸よう子

〒042-383-0514 東町5-14-10

市民相談は日本共産党へ

新庁舎建設計画の見直しのは是非を問う直接請求 住民投票の会(準備会)がスタート集会を開催

住民投票の会(準備会)の主催で、「コストダウンの見直しで、コロナ対策や市民生活に税金を新庁舎建設計画の是非を問う直接請求スタート集会」を7月18日に開催し、約50人の市民が参加しました。

集会には、日本共産党の寺内、たゆ、水上、森戸各議員、情報公開の渡辺議員、元気+小金井の古畑議員が参加しました。

集会では、開会のあいさつの後、市議会19名の生活に影響を与えない財政の裏づけを明らかにされないうちで、建設費の準備を進めることは困難である、という決議を可決したにもかかわらず、開発の看板を建設予定地に設置するなど、市の乱暴なやり方について報告。その後、建築の専門家から、現市長

日本共産党東京都委員会は、7月20日、小池都知事に対して、新型コロナウイルス

れ、国連に届けられた。核兵器禁止条約を日本政府が承認するよう、声をあげていこう」とあいさつしました。

参加した20代の青年は「祖母が亡くなる前、『戦争や核兵器反対の運動をしてきた資料が失われ、全部探し出し、地元から国際署名はみなさんの協力で市内で500名を超えて集められ、国連に届けられた。核兵器禁止条約を日本政府が承認するよう、声をあげていこう」とあいさつしました。

核兵器のない世界へ！ 国民平和大行進で市民が声を上げる

西岡市長からも「恒久的な努力を重ねていく」とメッセージが寄せられました。



平和行進・集会の様子

の後、直接請求の説明と今後の当面の活動の提案がされました。

直接請求は有権者の50分の1の署名(小金井の場合は約2014筆以上)で条例が成立します(市議会の議決が必要)。住民投票案を見直すこと、現設計案を見直すか、見直さないか市民の意思を明らかにすることができず。

日本共産党都委員会 コロナ感染封じ込め、命と暮らしを守る署名を都に提出

このレポ
1トが印刷
される頃、本
当にオリッ
ピックが開
催されてし
まっているのか、
菅政権は国民には緊急
事態宣言で自衛を求めな
がら、他方では世界最大
規模のお祭りは開催する
というのはあまりにも矛盾
したメッセージです。
これでは国民の理解と協
力を得ることは難しくな
り、感染抑制の効果も発
揮できなくなっています。

私も街頭で宣伝していても「オリッピックを中止させてくれ」と多くの
方から声をかけられます。
飲食店に金融機関や卸
売業者から圧力をかけさせようとしていたことも
密着し、国民の怒りは大
きくなっています。

今一番のコロナ対策は
オリッピックの中止です。
そしてワクチンの供給
と検査の拡充を並行して
セットで行うこと、補
償と支援を十分に行うこ
とが必要で、無為無策
の菅政権は終わらせまし
やう。
(たゆ久貴)

ナ感染を徹底的に封じ込
め、都民の命と暮らしを
守ることを求める署名を
1594筆提出しまし
た。この日の提出行動に
は小金井からはたゆ議員
強化をはかること。保健
所数、職員数を増やすこ
と⑤事業者に対する十分
な支援を、迅速に行うこ
と⑥くらしへの支援を抜
本的に強めること、でし
た。
東京都は、「十分に検討
したい」と回答しました。



裏面に、直接請求の趣意書を掲載

